

南部シルバー だより

公益社団法人 南部広域シルバー人材センター

第 49 号

平成30年3月1日発行

本 所 〒683-0351
鳥取県西伯郡南部町法勝寺170
電話 (0859) 66-4011 FAX66-5330

伯耆支所 〒689-4201
西伯郡伯耆町溝口688-7(遊学館内)
電話 (0859) 63-0222 FAX63-0223

業務時間 8:30~17:15
(休業日) 土・日・祝日



女性のつどい

仲間 語らい 楽しい一日

南部広域シルバー人材センターでは、女性会員を対象に「女性のつどい」を開催しています。日帰り旅行あり、研修会や体験、料理教室ありと毎回お楽しみがいっぱいです。去る9月6日は松江市にお出かけし、堀川遊覧や松江の郷土料理、地ビールなどを満喫しました。また、旧日銀松江支店ビルで開催される和菓子作り教室にも参加。季節のお菓子を上手に作り、皆さん満足の様子でした。



和菓子づくりにも挑戦。
講師は松江・彩雲堂のベテラン職人さん。

シルバー会員が元気で働き地域貢献 社会に大きな意義

伯耆町長 森 安 保

平成30年もはや2ヶ月が経過しましたがシルバー会員はじめ伯耆町・南部町の

皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

コツコツと積み上げていくような地道な努力が求められる時代になったと感じています。

私の使命は、少子高齢化、人口減少という重い課題を与えられた中での地方自治体運営であります。それら持続的な地域づくりのために、この地に暮すひと一人一人が、できることを

近年、以前とは一変した人手不足の時代を迎え、そして年金や医療などの社会保障制度の持続性を確保する上からも、シルバート人材センターの皆さんが元気で

活躍されることの意義は、社会の第一線を引退された後も自らのスキルを発揮して地域貢献を果たされ、なおかつ働くことの尊さを身をもって実践されるなど非常に大きなものがあります。どうかこれからもお元気で、そして笑顔いっぱい活動されるようお願いいたします。終わりに、二〇一八年が皆様にとつて素晴らしい年となることを祈念し、ご挨拶いたします。

安全就業の遵守、 生きがい創出、地域貢献

南部広域
シルバート人材センター
理事長 有 馬 均

南部町・伯耆町の皆様、そして行政をはじめ関係機関の皆様には日頃よりシルバート人材センター事業にご理解、ご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、私達シルバート人材センター会員は、就業にあたっては「安全はすべてに優先する」を基本的心得とし、無事故に努めております。

全国的に見ますと、シルバート人材センターの就業でも事故が発生し、その中には死亡事故も発生しています。私達会員は、安全マニュアルを愚直に遵守し、軽微な事故も「ゼロ」としなければならぬと考えております。

また近年、企業の定年延長の影響もあり、60代前半のシルバート人材センターへの入会者が減少する傾向にあります。これに対して、役員、会員が一丸となって会員を増やす活動にも取り組んでいます。

仲間とともにシルバートエイジを満喫し、地域へ力を発揮したいと考え、60歳以上の皆さま、どうかシルバート人材センターにご入会ください。

今年も、次世代に誇れる「なんぶ暮らし」の 創造に挑戦

南部町長 陶 山 清 孝

シルバート会員はじめ南部町・伯耆町の皆様には、日々ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

近年我が国では、政府が

地方創生を訴えるものの、依然として東京一極集中の流れが止まりません。大切に育てた若者たちが、18歳の春を迎えると堰を切ったように都会に流れ出し、地方では農業の担い手をはじめ消防団員や集落役員になり手が無い実情を見るにつけ、町政を担う責任の重さを痛感するところです。

素として①地域経済の振興、②地域生活の確保、③地域文化の振興が大切だと考えています。

す。そして地域文化の振興にも力点を置くのは、どんな時代になろうとも自分たちの地域や暮らしに誇りを失ってはならないと思うからです。今年も次世代に誇れる「なんぶ暮らし」の創造に挑戦してまいります。皆様にはご支援いただきますようお願いいたします。

私は地方創生の大切な要

地域経済の振興のために、は、地域の中でお金が回る、外部からお金が入って来る仕組みが必要です。地域生活の確保は、医療や教育そして福祉など、安心してこの町で暮らしていけるシステムが基本となります。

本年が皆様にとつて輝かしい年になりますようご祈念申し上げます。



技術・安全・健康維持の 向上を目指して

シルバーの各種講習会紹介



庭先果樹剪定講習会 (十二月)

現地で指導を受ける会員

キウイやアンズ、ウメ、など庭先果樹の剪定講習会を、県西部農業改良普及所副主幹の杉嶋至先生を講師に、12月に開催しました。今後、これらの剪定依頼にも本格的にお応えしていくことが目的です。

南部町内のお庭を借りて開催した講習会の参加者は、日ごろ植木の剪定に従事する会員が中心。庭木とは勝手が違う果樹剪定を習得しようと皆さん、真剣に取り組んでいました。



安全就業研修会 (十一月)

高齢者の交通安全を学ぶ会員

シルバー人材センターで実施する安全就業研修で、近年特に力を入れているのは「高齢者の交通安全」です。

毎年、交通安全に関わる様々な分野から講師をお招きして、講義、実技指導などを行っています。

今年度は、山陰中央自動車学校の教務課長・角戸教彦先生に高齢者の事故の特徴や、75歳以上になると免許更新時に課せられる認知機能検査などについて講義を受けました。

南部広域シルバー人材センター（以下「シルバー人材センター」）では、会員を対象に様々な講習を行っています。講習は、就業上の技術や安全意識の向上、健康維持などが大きな目的です。今回はそれら講習の一端をご紹介します。



柿剪定講習会 (十二月)

富有柿の剪定指導を受ける会員

庭先果樹の講習に続き、柿の剪定講習会も年末に開催しました。講師は庭先果樹と同じく杉嶋至先生。柿の剪定要望が多く寄せられるため、専門的技術、知識を持つ会員を養成するのが目的です。

今回の講習受講者は、今後数年にわたり同様の講習を受けるとともに、先輩会員から現場での指導を受け、本格的な柿剪定ができるようになってもらう予定です。



西伯病院高田照男先生による認知症の講義

派遣就業会員研修 認知症を予防する (十一月)

シルバー人材センターでは、企業へ派遣し就業する会員を対象に健康や就業能力の向上

を目的に毎年研修をおこなっています。今年度は認知症の予防をテーマに、西伯病院副院長・高田照男先生、同臨床検査技師・金田匡弘先生から講義並びに運動の実技指導を受けました。参加した会員は、講義に真剣に聞き入り、運動も和気あいあいながら真剣に取り組んでいました。



西伯病院、金田匡弘理学療法士による運動指導

生きがい・仲間・仕事・語らい 熟年世代を楽しく生きる

シルバー人材センターでは会員の健康づくりや仲間づくりにも取り組んでいます。



役員によるパトロールの様子

パトロールを実施した役員は、就業現場や就業内容にどのような課題があるのか、どう改善すべきかなどを実施後、徹底的に話し合います。(写真右)このような取り組みや毎年行う安全就業講習会の成果もあって、近年会員の安全に対する意識は向上してきました。

無事故就業の徹底を図るため、今後もパトロールの取組を続けます。

就業中の事故防止のため、シルバー人材センターでは、理事や安全就業対策委員などの役員が定期的に就業現場の安全パトロールを行います。パトロールは、毎回抜き打ちで実施します。剪定や草刈、草取り等の現場をはじめ、とっとり花回廊、派遣就業を行っている企業など、会員が就業しているところならすべての現場が対象です。

このほか、専門の安全就業推進員を南部・伯耆両町に配

パトロールは抜き打ち
すべての現場対象

安全はすべてに優先する 役員による定期的安全パトロール



パトロール後の検討会。安全就業について徹底的な話し合いが行われる。

置し、月数回パトロールを実施し、安全就業の徹底を図っています。

安全に対する課題
徹底的に話し合う



溝口地区の作業の様子 (溝口駅)



岸本地区の参加会員 (伯耆町庁舎)



西伯地区の参加会員 (プラザ西伯)



会見地区の作業の様子 (天萬庁舎)

シルバー人材センター恒例の奉仕作業を、十月に実施しました。各地区の学校や役場庁舎周辺、地区内の公共施設などの除草や剪定などを90名の会員、職員が行いました。参加者は、日ごろの就業の技術を発揮し、半日ばかりで施設周辺を見違えるようにきれいになりました。

奉仕作業で地域貢献 (十月)



材料はすべて身のまわりのもの

押花教室

仲間と楽しむサークル活動

押し花教室は、プラザ西伯で毎月開催されるシルバーのサークル活動です。会員は身の回りの草花を押し花にして持ち寄り、いろいろ取り合わせて押し花絵を作ります。年数は作品展などにも出展し好評です。

このほか伯耆支所では手芸作品などを作る手作り教室も開催されています。この手芸作品は地域のイベントで販売し、売り上げの一部は被災地への義援金として寄付されています。

地域の農業も支えています

休耕田やあぜの草刈、ネギ畑の草取り
ラッキョウの根切り作業、ハクサイ巻き作業
除草剤散布など

シルバー人材センターでは、地域の農業を支える活動も行っています。高齢化による担い手不足や繁忙期の人手不足など、ご依頼の理由は様々ですが、年間を通じて多様な農業支援活動を行っています。

農地やあぜの草刈り、畑の草取り、小規模な肥料や農薬の散布などが一般的な作業ですが、中にはラッキョウの根切り(29年は1・2トン)、ハクサイ巻き(同、2畝)など、季節限定の仕事もあります。



出荷の約一ヶ月前から始まるハクサイ巻きの作業 (伯耆町)



真剣な表情で張替え作業をする会員

に納め作業を完了しました。

障子・ふすま班の班長・牧野孝さんは、「黄ばんで所々穴が開いた障子は、以前から気になっていました。真っ白になって部屋が明るくなりました」と満足した表情。

障子・ふすま班ではこのような奉仕作業を今後も公共施設を対象に行う予定です。

11月、南部町の障子・ふすま班は、同町内にあるプラザ西伯の障子を張り替える奉仕作業を行いました。会員は、朝一番に障子をはずし作業場に運搬。半日かけて約40枚を張り替え、午後には元の場所



完成後、黄ばんで穴だらけだった障子が真っ白に。

シルバー伯耆支所に感謝状 公益社団法人 地震予知総合研究振興会



感謝状を受けた有馬理事長(左から2人目)と神庭敏明会員(右から2人目)

南部広域シルバー伯耆支所に対して、上記財団(茨城県つくば市)から感謝状が贈られました。これは、同財団が国内八百か所に設置する地震計の内、同町大内地区にある機器周辺の除草や環境整備を長年、神庭敏明会員がシルバーの就業として行って来たことに対する顕彰として行われたものです。

障子張替えの奉仕作業 南部障子・ふすま班 (十一月)

シルバー人材センターでは 新入会員を募集しています

南部町・伯耆町在住の60歳以上の方。シルバー人材センターで地域に力を発揮し、仲間と一緒に充実人生を過ごしましょう。

シルバー人材センターでは、こんなお仕事があなたを待っています

 <p>庭木剪定</p>	 <p>庭の管理 草取り</p>
 <p>簡易な 大工しごと</p>	 <p>家事援助</p>
 <p>草刈り</p>	 <p>障子・ ふすまはり</p>
 <p>農業支援</p>	 <p>布製品 リフォーム オーダーメイド カーテン</p>

入会についての

Q&A

何歳から入会可能ですか？

入会可能な年齢は60歳以上です。ただし、その年度に60歳になる人は、入会時に59歳でも入会可能です。入会するためには必ず入会説明を受けなければなりません。入会説明会については以下のとおりです。

入会説明会と年会費は？

入会説明会は毎月第3水曜日の午後1時30分から、偶数月は南部町のプラザ西伯、奇数月は伯耆町の岸本保健福祉センターで開催します。時間は2時間程度です。入会時には年会費2500円が必要です。

どんな仕事があるの。社会保険は？

就業についてはこのページの左上と次の8ページを参照してください。これらの就業のほか、工場の製造補助などの派遣就業もあります。シルバー人材センターと会員には雇用関係はありませんので健康保険の適用はありません。また、一定期間の賃金を保障するものではありません。

就業の流れと報酬(配分金)は？

請負就業の場合、お客様からシルバーに就業依頼があると、その就業ができる会員に連絡します。会員に就業を了承してもらったら、お客様と会員、職員で現場打合せをし、就業開始です。完了後、お客様に作業完了を確認してもらいその確認書をシルバー事務所に提出します。会員への就業報酬は、翌月15日に会員の口座に振り込まれます。

あてがき

剪定は毎年するのがいちばんですね

専務理事 長尾 健治

最近、気になっていることは、剪定を毎年ではなく何年おきにご依頼されるお客様が少しずつ増えていることです。

先代様はじめご先祖が大切に手入れなさってきた庭木に対して、現在のご当主はあまり興味がないのかな、とも思ったりします。

ちなみに毎年剪定をするのと何年おきにする場合、料金の総額はあまり変わりません。伸び放題の木を整えるためには余分に時間がかかり、加えて切った枝の処分費も、毎年するよりずいぶん多くかかります。

これは民間の業者さんに依頼される場合も同様です。

おまけに、木をのび放題にすると庭木の美しさである所作が崩れてしまい、庭全体が美しさを失ってしまいます。

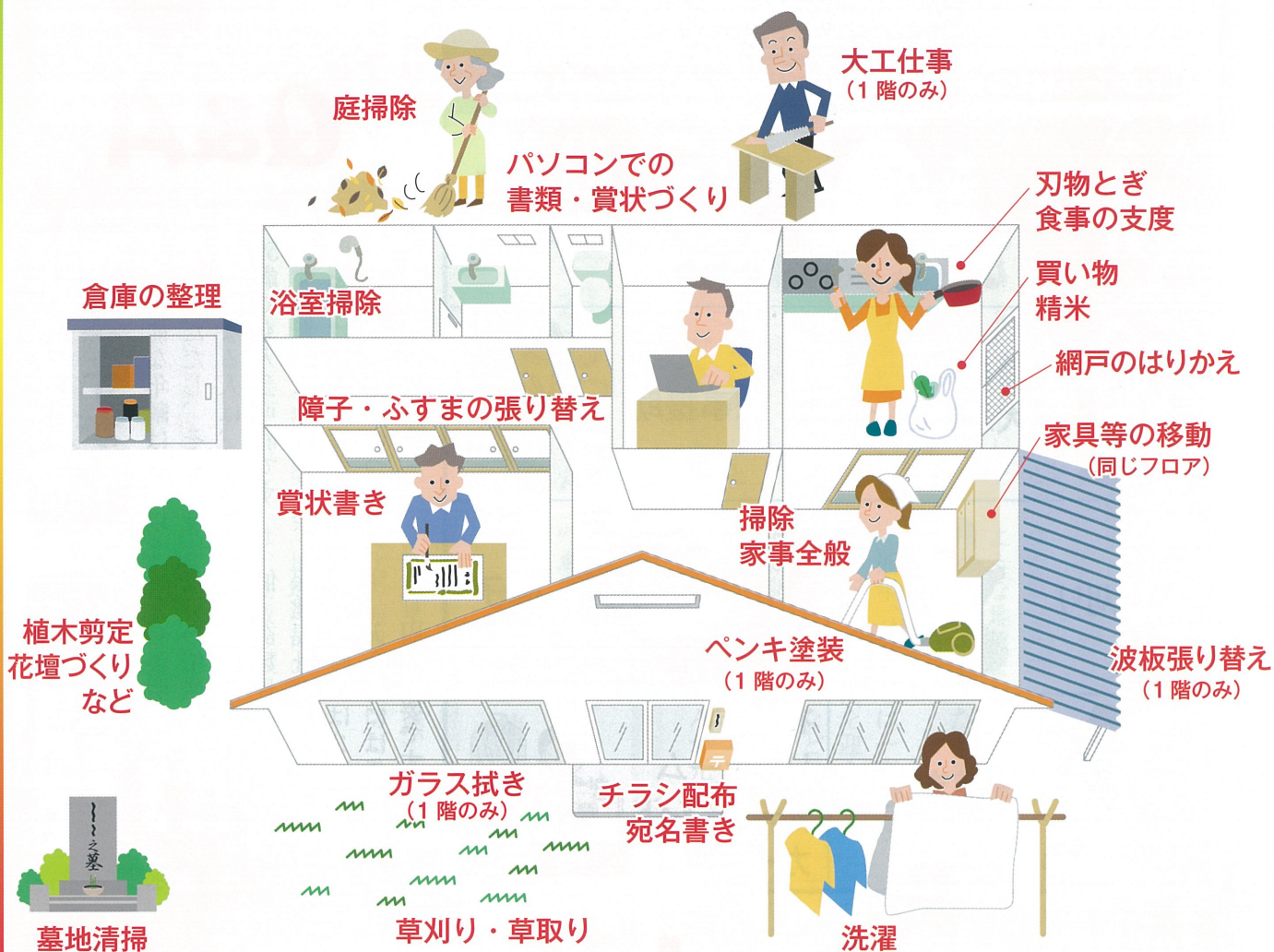
多年の放置の例を一つご紹介します。県内の某シルバー人材センターが受注した、何年も放置されていた生垣の剪定です。

お客様から道路にはみだした部分を切ってほしい旨のご依頼があり剪定をしたところ、家が丸見えになってしまったという苦情が寄せられました。長年の放置で日陰になっていた内側に、葉っぱがなくなっていたためです。

その後、お客様とセンターでどのように話し合われ、決着したのかは聞き及んでおりません。

こんなお仕事はおまかせください!

～家回りから専門分野まで、様々な仕事をお引き受けします～



今後、このような仕事にも力を入れていきます

- 農業支援(耕うん、田植え、稲刈り等の基幹作業を除きます)
- 空き家見守り
- 庭先果樹の剪定
- 高齢の方の話し相手
- 自分史作成補助(聞き取りと原稿作成)

お仕事のご依頼、ご相談、シルバー人材センターへの入会は…

公益社団法人 南部広域シルバー人材センター

営業時間 8:30～17:15

休業日 土・日・祝日

本所 西伯郡南部町法勝寺170(プラザ西伯内)

伯耆支所 西伯郡伯耆町溝口688-7(遊学館内)

TEL(0859)66-4011

TEL(0859)63-0222

FAX(0859)66-5330

FAX(0859)63-0223

E-mail:nanbu@sjc.ne.jp

E-mail:houki@sjc.ne.jp